

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 5 部門第 3 区分
【発行日】 令和 6 年 8 月 21 日 (2024.8.21)

【国際公開番号】 WO2024/057503
【出願番号】 特願 2023-515374 (P2023-515374)

【国際特許分類】

F 2 4 D 3/14 (2006.01)
F 2 4 F 5/00 (2006.01)
F 2 8 F 1/32 (2006.01)
F 2 8 F 1/36 (2006.01)
F 2 8 F 1/16 (2006.01)
F 2 8 F 21/08 (2006.01)
F 2 8 F 19/06 (2006.01)

【F I】

F 2 4 D 3/14
F 2 4 F 5/00 1 0 1 B
F 2 8 F 1/32 M
F 2 8 F 1/36 E
F 2 8 F 1/16
F 2 8 F 21/08 A
F 2 8 F 19/06 Z

【手続補正書】

【提出日】 令和 4 年 11 月 15 日 (2022.11.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

輻射パネルのパネル本体を構成する伝熱部材において、
該伝熱部材は、

長尺状の本体部を有し、該本体部の内部には、肉抜き部、及び熱媒体流通管が貫設される挿通孔が長手方向に沿って形成され、

前記本体部は、前記肉抜き部と外部とが連通する開口部が形成されるとともに、前記本体部の四隅には、前記本体部を前記パネル本体に固定するための固定具が挿入される固定溝が形成された

伝熱部材。

【請求項 2】

前記開口部は、

前記本体部の長手方向に沿って連続的に形成された

請求項 1 に記載の伝熱部材。

【請求項 3】

前記本体部は、前記挿通孔の軸方向で相互に略相似形状である第 1 の本体部と第 2 の本体部とから構成され、

前記第 1 の本体部は第 1 の開口部を通じて外部と連通する第 1 の肉抜き部が形成され、
前記第 2 の本体部は第 2 の開口部を通じて外部と連通する第 2 の肉抜き部が形成された

請求項 1 または請求項 2 に記載の伝熱部材。

【請求項 4】

前記第 1 の本体部と前記第 2 の本体部とは相互に分離可能な半割体から構成された請求項 3 に記載の伝熱部材。

【請求項 5】

前記本体部は、アルミ材による押出成型により一体成型されるとともに、表面がアルマイト加工された

請求項 1 または請求項 2 に記載の伝熱部材。

【請求項 6】

前記本体部の表面は、ローレット加工により長手方向に沿って突き出たフィン部が、幅方向に沿って所定の間隔で波状に形成された

請求項 1 または請求項 2 に記載の伝熱部材。

【請求項 7】

設置面に対して鉛直方向に立設する左右一対の支柱と、該支柱間の所定の方向に沿って伝熱部材が並設されたパネル本体を有する輻射パネルにおいて、

前記伝熱部材は、

長尺状の本体部を有し、該本体部の内部には、肉抜き部、及び熱媒体流通管が貫設される挿通孔が長手方向に沿って形成され、

前記本体部は、前記肉抜き部と外部とが連通する開口部が形成されるとともに、前記本体部の四隅には、前記本体部を前記パネル本体に固定するための固定具が挿入される固定溝が形成された

輻射パネル。

【請求項 8】

前記開口部は、前記本体部の一方側、及び一方側の反対側である他方側にそれぞれ形成され、前記伝熱部材の並設方向に対して所定の角度で交わる方向に向けて開放された

請求項 7 に記載の輻射パネル。

10

20

30

40

50